

協働と自立による住民 主役の个性的なまちづくり

◆総務常任委員会◆

うるおいのある 生活環境

地域交通対策事業費

日常生活に必要な地域
交通網の維持・確保・充
実を図る経費

問 ひまわりバスの料金
の減額対象者は。

答 障がい者は障がい者
手帳を提示すれば無料、
自動車運転免許の自主返
納者は証明書を提示すれ
ば無料、小中学生は半額
の50円である。

地域おこし協力隊設置事 業費

地域おこし協
力隊員を委嘱
し、顕娃地域
の観光地づく
りを進め、地
域活性化と地
域への定住を
図る経費

の審査から

問 地域おこし協力隊員
の採用はいつからか。

答 4月から公募の手続
きを進め、7月から採用
する予定である。



ワークショップの様子

市民の安心・ 安全を守る整備

広域消防組合費

常備消防業務に係る一
般経費

問 消防車両の更新に係
る車両の種類と配置計画
は。

答 はしご車を指宿消防
署へ、指揮車を南九州消
防署に配置する予定であ
る。

消防施設費

災害発生時における初
動体制の強化及び効率的
な組織体制を築くため、
消防水利や施設、資機材
などの計画的な配備、維
持管理を行い、消防体制
の整備充実を図る経費

問 防火水槽解体工事に
伴う補償費は。

答 大川地区の民有地内
にある防火水槽の解体に
伴うブロック塀の補償費
である。

消防団員費

防災活動や火災時の消
防防災活動に要する経費

問 消防団員594人分
の活動服購入経費は。

答 整備の基準の改正に
より服のデザインが変わ
るため、一新するもので
ある。



女性消防団員の普通救命講習

活力ある人と ものが動く産業

まちづくり支援自動販売 機基金費

支援自動販売機の売上
高に寄附割合を乗じた額
を設置者が希望する寄附
目的事業の基金に積み立
てるもの

問 自動販売機の寄附割
合は。

答 設置場所により異な
るが、売上げの13%から
32%の割合で個別に契約
するものである。

安全でうるおいのある 生活環境づくり

◆文教厚生常任委員会◆

保健・生活環境 の充実

環境衛生費

不快感のヤンバルト
サカヤスデのまん延防止
を図るための薬剤購入費
に対して7割助成する経
費

問 薬剤の購入申請状況
は。

答 28年2月末時点で申
請件数1772件、助成
額1294万2770円
である。

問 まん延状況は。

答 面積で市全体の約30
%、自治会数で約52%に
及んでいる。

緊急通報システム事業費

概ね65才以上のひとり
暮らしの高齢者が、救助を
要する場合に消防指令セ
ンターに連絡できる緊急
通報装置の設置に要する
経費

問 緊急通報装置の単価
及び台数は。

答 単価は8万1440
円、台数は6台を計上し
ている。

問 緊急通報装置の取り
扱いは。

答 固定式の電話と首か
けペダントの一体型
で、ボタンを押すことに
より、消防指令センター
につながるもので、首か
けペダントの使用可能
範囲は電話機から50mで
ある。



緊急通報システム

各種がん等検診費

生活習慣病の早期発
見、早期治療に資するた
め胃がん、肺がん、大腸
がん、子宮頸がん、乳が
んの検診に要する経費

一般会計予算

問 がん検診の受診率は。
答 27年度の各検診率は、胃がん約26%、肺がん約38%、子宮頸がん約27%、乳がん約38%である。

教育の充実

学校再編関係費

額娃地区3中学校の再編協議及び神殿小学校と川辺小学校の再編に向けた交流学习授業に要する経費

問 神殿小学校と川辺小学校との交流学习計画は。
答 今後、両校で協議しながら進めていく。

委員会から
 神殿小学校と川辺小学校との交流学习について、再編統合へ向けて子供達の不安解消が図られるよう、柔軟な予算執行に努めるようとの意見が出された。

社会教育推進事業費

社会教育推進体制の充実及び社会教育関係団体との連携を図るため、これらの団体への助成や、成人式開催などに要する経費

問 社会教育団体関係への補助金の状況は。
答 各種女性団体連絡会に9万5千円、地域女性団体連絡会に80万円、PTA連絡会に42万1千円、連合青年団に34万7千円を補助している。

問 連合青年団員数及び活動状況は。
答 団員数は63人。活動は、歩こう会を中心に、子ども会フェスティバル参加などである。



歩こう会

安心・安全な食の提供と未来を支える農業のまちづくり

産業建設常任委員会

農林水産業の振興

水産振興費

漁業経営安定のため各種放流事業や水産振興会への補助金が主なもの

問 パイロット放流事業の効果は。
答 かいまい漁協への補助で、ヒラメ、マダイなどの放流を行い、水産資源の増殖に寄与している。

ふれあい農園管理運営費
 額娃市民ふれあい農園及び川辺ふれあい農園を管理するための経費

問 川辺ふれあい農園の利用状況は。
答 104区画中63区画が利用されており、市外の利用者が多い。



ふれあい農園

産業・観光振興の支援

交流推進費（一般経費）

川辺磨崖仏まつり、小京都ふるさと祭り及びえいのゴッソイまつりなどへの地域イベント事業負担金が主な経費

問 イベント助成を今後も継続していくのか。
答 継続する方向であるが、29年度を目処に、磨崖仏まつり、小京都祭り、ゴッソイまつりは一律250万円に調整する。

このほか、総事業費300万円未満のイベント等については、補助金の対象としない。

住環境の整備

市道補助整備事業費

社会資本整備総合交付金を活用し、橋りょう長寿命化修繕計画に基づく橋りょうの架け替え、修繕にかかる工事請負費が主なもの

住宅管理費

市営住宅の維持管理に要する経費



石飛橋（川辺町小野）

問 市営住宅の入居状況等は。
答 684戸のうち政策空き家29戸を含む空き家が48戸、入居率は約95%である。

※政策空き家とは
 老朽化等の理由で、空き家になっても入居の募集を行わない市営住宅

問 橋りょう修繕事業（石飛橋）については仮設橋を設置するのか。
答 石飛橋においては、仮設橋を設けるとさらに高額な工事費となるため工事期間中は通行止めとする。近隣住民の理解は得ている。